

# クッチャロ湖通信

今春のコハクチョウの飛来数は、例年に比べ更に少ないものとなりました。例年に比べて雪解けが遅い事が影響したのか、各地の越冬地からも飛び立ちの遅い白鳥たちが残っているとの情報が入ってきていました。



観光バスの入込みで賑わう湖畔の



岸にあがって、くつろぐコハクチョウたち

白鳥などの渡り鳥は、季節の変化を読み取りながら、渡りの時期を決めているとされており、特に日照時間などの年による変化の少ないものが旅立ちの時期を決めるのに大きな影響を与えていると考えられています。このため、野鳥の渡りの時期は極端にずれる事はあまりありません。しかし、今シーズンのように雪解けが例年よりも遅くなるとその判断を鈍らせてしまうのか、野鳥の渡りに影響を与えてしまうようです。

コハクチョウの春の渡りは、北部の湖沼の氷がとけているかどうか、重要になってくると思われます。越冬地に雪が残っているとその場所よりも北の地域でも雪が残っており、まだ、渡るには早すぎると思うのかも知れません。

ただしあまり北上が遅くなるとその年の繁殖にも影響が出て来るので、毎年、中継地している地域を飛び越えて、渡っていつてしまう場合もあるようで、今シーズンはそんな年だったのかも知れません。

白鳥情報 4月30日 約2,100羽

## 浜頓別の自然（春を感じる）

道北へもようやく遅い春がやってきました。暖くなると冬にはいなかった野鳥が渡って来たり、野山に花や新芽が見られるようになります。今月はそんな春らしさを紹介します。

コハクチョウの飛来

クッチャロ湖の湖畔で、一番春を感じるのは、氷が溶けてコハクチョウが渡って来る事です。今春は飛来数が少なかったもののコハクチョウだけでなく多くのカモ類が水辺で羽根を休めていました。

ウグイスやセンダイムシクイなどの夏鳥たちが訪れ、湖畔の林でさえずりをはじめのもこれからの季節です。カラ類などの冬でも残っていた野鳥たちは、早い時期から、さえずりをはじめています。

いつのまにか、カモメが渡っていき、ウミネコが姿を見せる時期にもなりました。この季節のウミネコはなぜか体の羽根がピンク色をしている場合があり、別のカモメかと思うほどきれいな羽色をしています。

植物たちも春の訪れをいち早く教えてくれます。林の雪は、温まった樹木の周りからとけていきます。陽のあたる斜面では、雪が崩れて地表が現れ、そこから野草たちが姿を見せ始めます。

そういった場所からは「ふきのとう」など野草の花が見られるようになります。

町内では少なくなったため、あまり見かけなくなりましたが、フクジュソウなども雪解けとともに花を咲かせる花のひとつです。

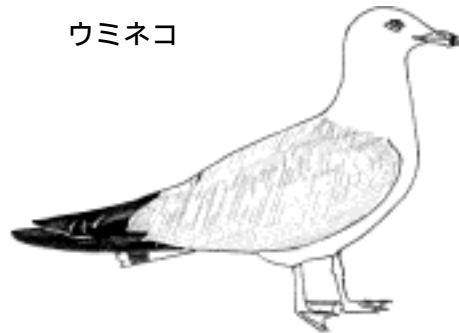
草地の雪解けがすすむとエゾエンゴサクなどの青い花や沢沿いでは、ミズバショウやエゾノリュウキンカが見られるようになります。

林では、木々の新芽が見られるようになります。新芽の芽吹きは、暖くなると一斉に進んでいきます。木の種類によって新芽の色も違います。ヤナギの仲間は薄い黄緑でエゾヤマザクラの新芽は赤紫色です。ケヤマハンノキは葉が出る前に赤褐色の目立たない花を咲かせます。

浜頓別町内で見かけた春らしいものがありましたら、水鳥観察館までご連絡下さい。



ウミネコ



エゾノリュウキンカ



ミズバショウ



ヤナギの芽

## ベニヤ原生花園の野草たち（その24）

まだ、肌寒い日もありますが、季節は少しずつ変わってきました。町内でも、ようやく野草が見られるようになりました。ベニヤ原生花園の花のシーズンはまだ先ですが、これからいろいろな花が咲き始めます。

ナニワズ



ナニワズの実



ナニワズ

春先の早い時期に黄色い小さな花を咲かせるジンチョウゲ科の小低木。高さは15cmほど。

樹皮が丈夫で強い事から、鬼を縛れるという意味の「オニシバリ」という名前でも知られています。

夏に葉がなくなる事から「夏坊主（なつぼうず）」の異名もあり、夏にはきれいな赤い実をつけます。

（開花：5月中旬～6月上旬）

フデリンドウ



フデリンドウ

5センチほど小さい丈のリンドウです。原生花園では、スズランの丘付近の遊歩道などで見られます。花の色が薄紫で目立たず、大きさも1センチほどと小さいため、毎年、見つけるのが大変な植物です。開花は年による変化が大きいように思われます。

（開花：5月中旬～6月上旬）

## シリーズ自然特集



クチバシの模様を記録し放鳥しました。

## コハクチョウ（110）

5月2日、クッチャロ湖では、3年ぶりになるコハクチョウの標識調査を行ないました。今回の調査は若鳥に行いました。

前は金属リングのみの装着でしたが、今回は通常どおり、首と足に132Yの番号付きの緑のカラーリングを装着しています。

クッチャロ湖のように白鳥が岸にあがったり、近づいて観察できる地域では、金属足環でも確認できますが、越冬地の状況では、首環がついていないと標識鳥かどうか確認できない場合もあり、このため、カラーリングの装着を行なっています。

## ～白鳥フェスタ2005開催されました～

5月3、4日の2日間にわたって開催された「白鳥フェスタ」には、多数の参加があり、浜頓別町の地場産品の味覚とコハクチョウたちの姿を楽しんでいただきました。参加ありがとうございました。引き続き、下記の内容で、各種コンテストを募集しておりますので、ご応募お待ちしております。

味覚  
& 磁場  
産品  
コーナ-



給餌  
体験



### 白鳥俳句コンテスト

作品募集開始：5月3日～

クッチャロ湖をテーマとした俳句を詠んで、水鳥観察館・役場などに設置された「応募箱」に投函して下さい。入選作には、それぞれ賞品をお送りいたします。

10月上旬に当選者発表

### 白鳥への手紙

受付け開始：5月3日～

ご自分の願い事を応募用紙に書いて、応募箱に投函して下さい。審査の上、10名様に記念品をお送りいたします。

10月上旬に当選者発表

## 白鳥のエサ ありがとうございます！！



今シーズン中も、町内外の方から、古米、古いお餅、乾燥したパン類等を多数頂きました。ありがとうございました。今シーズンの白鳥の飛来は終盤をむかえましたので、また来シーズンになりましたら、よろしくお願い致します。

簡単ではございますが、白鳥にかわってお礼申し上げます。

発行／編集：浜頓別町産業振興課（浜頓別クッチャロ湖水鳥観察館）

〒098-5739 北海道枝幸郡浜頓別町クッチャロ湖畔 開館時間 9:00～17:00

TEL/FAX (01634) 2-2534

休館日 月曜日、祝日の翌日、年末年始

Eメール webmaster@mail.town.hamatonbetsu.hokkaido.jp（浜頓別町）

Eメール hamaton@eolas-net.ne.jp（水鳥観察館）

ホームページ <http://www.town.hamatonbetsu.hokkaido.jp/>（浜頓別町）